

ごあいさつ

皆様には、日頃より、愛知県信用農業協同組合連合会（愛称「JA愛知信連」）に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も皆様に当会の経営方針、業務内容、令和4年度の業績等をご紹介するために、本誌を作成いたしました。ご一読いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

当会は、昭和23年の設立以来、農業専門金融機関・地域金融機関として、県下のJAが食の安全と安心を地域の皆様にお届けすることを金融面からサポートするとともに、利用者の皆様の生活向上に資する幅広い金融サービスを提供することにより、地域農業の発展と豊かな地域社会の創造に取り組んでまいりました。

さて日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の両立・正常化が進展したものの、物価高や欧米各国の金融引き締め等により景気の減速懸念が生じる等、その先行きはますます不透明感が高まる経済環境となっています。

また、金融業界におきましては、超低金利環境の長期化等による厳しい収益環境が続く中、各金融機関では新たな収益源の確保として、またSDGs視点での使命発揮としても、取引先の経営支援やコンサルティングなど様々な取引先の本業支援を展開する動きが強まっています。

一方、農業の分野におきましては、肥料、燃料等の生産資材高の影響が農業経営を脅かす状況となっており、その経営環境は引き続き厳しい状況であることから、系統金融機関として金融仲介機能を十全に発揮し、JA系統ならではの付加価値を提供していくことの重要性が一層高まっています。

当会は、こうした情勢認識を踏まえ、中期計画（令和5年度～令和6年度）に基づき、JAごとの特性に応じた実効性の高いJAサポートに取り組むとともに、県下JA系統信用事業（通称「JAバンクあいち」）ならではの価値提供と持続可能な収益モデルの構築に向け、役職員が一丸となり「JAバンクあいち」の発展に努めてまいります。

皆様におかれましては、本誌等を通じて当会に対するご理解を深めていただきますとともに、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月



代表理事 理事長
磯村 幹夫

経営管理委員会 会長
齋藤 種治

経営管理委員会 会長 齋藤 種治
代表理事 理事長 磯村 幹夫